

農業開発政策・普及特論 (2 単位)

担当者氏名 岩本純明・杉原たまえ

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

発展途上国における農業・農村開発政策および普及事業について、理論と実証の両面から検討・考察する。本年度は、前半の 10 回分では途上国時代の日本をとりあげ、経済・農業開発と農業技術普及について講述する。日本の経験から途上国の農業開発・普及への教訓を受講生が各自引き出せることを目標とする。後半の 5 回分で、日本の経験を中心に農業・生活改良普及制度について理解し、応用できる能力をつけることを目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

<u>農業政策</u>	<u>農業普及</u>	<u>社会開発</u>	<u>農民組織</u>
<u>農村開発の担い手</u>	<u>開発援助</u>	<u>日本農業</u>	<u>慣習経済</u>

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	日本の経済発展と農業：概観	日本の経済発展の概観	授業のねらい： ①基礎学問を修得する。 ②開発途上国における農業政策の役割や農業普及の意義を明らかにし、分析力と応用力をつける。 準備： ①指定した参考文献を熟読する。 ②配付資料の予習・復習に努める。 ③討論形式で授業を進めることが多いので、積極的に発言ができるように各自準備をして出席すること。
2	開港と世界市場への包摂	維新期の開港とその影響	
3	産業化 I：製糸業	在来産業の展開	
4	産業化 II：紡績業	移植型産業の展開	
5	地租改正と近代的財政制度の確立	近代財政制度の確立とその意義	
6	地主小作関係と農村共同体	農地所有制度、小作制度、農地政策	
7	農業技術発展	明治農法の展開	
8	農地改革 I	農地改革の内容	
9	農地改革 II	農地改革成功の要因 I	
10	農地改革 III	農地改革成功の要因 II	
11	農業・農村開発と担い手①	開発と女性・児童	
12	農業・農村開発と担い手②	開発と・高齢者・障害者	
13	農業・生活改良事業 I	農業普及事業	
14	農業・生活改良事業 II	生活改善運動・衛生改善運動	
15	農村活性化政策	道の駅・一村一品運動など	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

第 1 回の授業の際に指示する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

毎回の講義で、適宜、指示する。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポート 50%、討論への積極性 50%

◆オフィスアワー

毎週木曜日 13:00~14:30

◆その他受講上の注意事項

積極的な討論参加を求める。